

稲賀繁美 (いなが しげみ)

京都精華大学国際文化学部、初代学部長を経て特任教授

1957年東京生まれ、広島育ち。東京大学大学院比較文学比較文化専攻満期退学・パリ第7大学博士課程終了。三重大学助教授を経て、国際日本文化研究センター・総合研究大学院大学・助教授・教授を経て、2021年より名誉教授。放送大学客員教授。

専門は比較文学・比較文化、文化交渉史。主要著書に『絵画の黄昏 エドゥアール・マネ没後の闘争』(1997)『絵画の東方 オリエンタリズムからジャポニスムへ』(1999)『絵画の臨界 近代東アジア美術史の桎梏と命運』(2014)3部作のほか『接触造形論 触れ合う魂 紡がれる形』(2016: いずれも名古屋大学出版会)など。主な日本語編著に『異文化理解の倫理にむけて』(名古屋大学出版会、2000)、『伝統工芸再考』(思文閣出版、2007)、『東洋意識』(ミネルヴァ書房、2012)、『海賊史観からみた世界史の再構築』(思文閣出版、2017)、『映しと移ろい: 文化伝播の器と触変の実相』(花鳥社、2019)。仏文共編著にVocabulaire de la spatialité japonaise (CNRS Éditions, 2014)。近著に『矢代幸雄』(ミネルヴァ書房、2022)。放送大学印刷教材として『日本美術史の近代とその外部』(放送大学教育振興会、2018)。ジャポネズリー学会賞、サントリー学芸賞、澁澤クローデル賞特別賞、倫雅美術奨励賞、和辻哲郎文化賞、フランス建築アカデミー出版賞など受賞。

業績検索: <https://inagashigemi.jp.org>

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 稲賀繁美 | INAGA Shigemi |
| 戦 暁梅 | ZHAN Xiaomei |
| 打本和音 | UCHIMOTO Kazune |
| 橋本順光 | HASHIMOTO Yorimitsu |
| 平芳幸浩 | HIRAYOSHI Yukihiro |
| 藤本憲正 | FUJIMOTO Norimasa |
| 近藤貴子 | KONDŌ Takako |
| 糸永・デルクール光代 | ITONAGA-DELCOURT Mitsuyo |
| 白石恵理 | SHIRAIISHI Eri |
| 許 躍煒 | XU Yuewei |
| プラダン・ゴウランガ・チャラン | Gouranga Charan PRADHAN |
| 村中由美子 | MURANAKA Yumiko |
| 松村薫子 | MATSUMURA Kaoruko |
| 春藤猷一 | SHUNTŌ Ken'ichi |
| 飯窪秀樹 | IKUBO Hideki |
| 前川志織 | MAEKAWA Shiori |
| 森田百秋 | MORITA Momotoki |
| 中村和恵 | NAKAMURA Kazue |
| 富永梨紗子 | TOMINAGA Risako |
| 志賀祐紀 | SHIGA Yuki |
| 竹村民郎 | TAKEMURA Tamio |
| 滝澤修身 | TAKIZAWA Osami |
| 根川幸男 | NEGAWA Sachio |
| 新井菜穂子 | ARAI Nahoko |
| 鑄物美佳 | IMONO Mika |
| 尾鍋智子 | ONABE Tomoko |
| 多田伊織 | TADA Iori |
| 江口久美 | EGUCHI Kumi |
| 藤貫 裕 | FUJINUKI Yū |
| 森岡優紀 | MORIOKA Yuki |
| 平倉 圭 | HIRAKURA Kei |
| 鈴木洋仁 | SUZUKI Hirohito |
| 君島彩子 | KIMISHIMA Ayako |



ISBN978-4-909832-72-6
C1000 ¥6800E

花鳥社

定価(本体 6,800円+税)



蜘蛛の巣上の無明

インターネット時代の
身心知の刷新にむけて

稲賀繁美 編

Avidya on the Spider's Web

*In Search of Psycho-somatic Ethics
in the Age of Meta- and Multi-verse*

INAGA Shigemi

Avidya on the Spider's Web: In Search of Psycho-somatic Ethics in the Age of Meta- and Multi-verse

蜘蛛の巣上の無明

インターネット時代の身心知の刷新にむけて

稲賀繁美 編



花鳥社

蜘蛛の巣上の無明

インターネット時代の身心知の刷新にむけて

Avidya on the Spider's Web

*In Search of Psycho-somatic Ethics
in the Age of Meta- and Multi-verse*

稲賀繁美 編

INAGA Shigemi

花鳥社

吾々は今、電子情報のネット網という「蜘蛛の巣」に囚われている。それはすべてに連絡できるという幻想と裏腹に、「ネット中毒」によって感覚を麻痺させ、「獲物」を雁字搦めに拘束する。そこに囚われた主体は、実際には「無明」に包まれている。それは「ネットカルマ」(佐々木閑)とも命名された。かつては脳に託された知識の蓄積も「雲上」の外部装置に委託され、教育において次世代に継承すべき知識内容も、いまや自明性を喪失している。その一方で、身体を介した実践知は、人工頭脳やロボット技術による置換がきわめて困難な領域として注目されるに至っている。実際、文書化された教科書の手引では伝達できない領域が、身体に埋め込まれり込まれた身体の中に「無明」として残された領域をどう扱うか、その将来像を模索したい。この課題には文化横断的な国際的知見、学際的な経験交流、実践を無視しない総合性が要請される。(「はしがき」より)

はしがき

序論 本論文集の構想について

第I部 想像力

「蜘蛛の巣」が喚起するもの

第II部 研究方法論

「蜘蛛の巣構造」による
研究領域の刷新

第III部 生態的社會動態論

「蜘蛛の巣」模型の
有効性と限界

第IV部 電子媒体・身体と都市

「蜘蛛の巣」情報網
Net社会の光と影

第V部 言語論的転回

脳科学・神経系美学を超えて

INAGA Shigemi

稲賀繁美 編



花鳥社

電子テクノロジーが見逃してきた 盲点を突き止める。

「蜘蛛の巣」を鍵言葉に、人類の想像力がいかに蜘蛛の巣状に連動し、それが従来の研究方法をいかに刷新するのか。また「蜘蛛の巣」というマトリックスに照らして現実を分析することがいかなる可能性を開くのか。電子媒体を「蜘蛛の巣」webとして捉えることで、そこに潜む危険とも裏腹の将来像を、特定の専門分野の枠組みを横断して探求する。

定価(本体6,800円+税) 花鳥社



「編者授業風景・似顔絵」

トウ トクシ
画=陶 徳鑫
(京都精華大学大学院マンガ研究科)

蜘蛛の巣上の無明

Aviarya on the Spider's Web: In Search of Psycho-somatic Ethics in the Age of Meta- and Multi-verse

インターネット時代の身心知の刷新にむけて

稲賀繁美
編

INAGA Shigemi



花鳥社